

大会プログラム一覧

11月24日（日）

会員企画シンポジウム4

11月24日(日) 09:00～10:30 【A会場(413)】

「自然災害後の健康心理支援について ～学校・家族・地域に何をするか?～」

企画者：山田 富美雄 (関西福祉科学大学)
司会者：山田 富美雄 (関西福祉科学大学)
話題提供者：畠中 香織 (梅花女子大学看護保健学部)
話題提供者：宮道 力 (岡山大学)
話題提供者：大野 太郎 (大阪人間科学大学)
指定討論者：田中 共子 (岡山大学)

教育講演

11月24日(日) 10:50～11:50 【A会場(413)】

「健康心理学の知見をいかに社会実装するか？」

座長：島崎 崇史 (東京慈恵会医科大学)
演者：竹中 晃二 (特定非営利活動法人健康心理教育実践センター
順天堂大学スポーツ健康医科学研究所)

ランチョンセミナー

11月24日(日) 12:10～13:10 【A会場(413)】

「身体活動の行動変容と健康の社会的決定要因」

座長：杉山 匡 ((公財)パブリックヘルスリサーチセンター ストレス科学研究所 研究員)
演者：井上 茂 (東京医科大学公衆衛生学分野)
共催：公益財団法人パブリックヘルスリサーチセンター

委員会企画テクニカルワークショップ 研究推進委員会

11月24日(日) 13:20～14:50 【A会場(413)】

「健康心理学テクニカルワークショップ ー心理学研究・教育における生成AIの活用可能性を探るー」

企画者：日本健康心理学会 研究推進委員会
司会者：浦田 悠 (大阪大学)
話題提供者：浦田 悠 (大阪大学)
話題提供者：平井 啓 (大阪大学)

第138回健康心理学研修会

11月24日(日) 13:20～14:50 【B会場(414)】

「再犯防止を目的とした認知行動療法に基づくアプローチ—健康心理学によるエンパワメントの果たす役割—」

企 画：研修委員会

演 者：野村 和孝(北里大学医療衛生学部保健衛生学科)

会員企画シンポジウム5

11月24日(日) 15:00～16:30 【A会場(413)】

「After コロナの学生の精神健康支援のあり方の見直し—パンデミックのストレス・心的外傷をふり返って—」

企 画 者：堤 俊彦(大阪人間科学大学心理学部)

司 会 者：藤田 益伸(人間総合科学大学人間科学部)

話題提供者：堤 俊彦(大阪人間科学大学心理学部)

話題提供者：藤田 益伸(人間総合科学大学人間科学部)

話題提供者：永浦 拓(北海道教育大学大学院教育学研究科)

話題提供者：中村 千珠(大阪人間科学大学心理学部)

話題提供者：坂下 英淑(大阪人間科学大学心理学部)

指定討論者：大野 太郎(大阪人間科学大学心理学部)

会員企画シンポジウム6

11月24日(日) 15:00～16:30 【B会場(414)】

「福祉分野における行動科学的支援の導入にむけて」

企 画 者：福留 尚典(早稲田大学)

司 会 者：西中 宏吏(早稲田大学)

話題提供者：辻田 真凜(早稲田大学)

話題提供者：黒田 翔子(早稲田大学)

話題提供者：福留 尚典(早稲田大学)

話題提供者：境 泉洋(宮崎大学)

話題提供者：石川 律(早稲田大学)

指定討論者：嶋田 洋徳(早稲田大学)

ポスターセッション

11月24日(日) 責任発表時間 15:30～16:10 【展示会場(111・112・113)】

- P2-1 短縮版児童用強み認識尺度と強み活用感尺度の開発
項目反応理論による尺度開発
○小國 龍治
立命館大学 総合心理学部
- P2-3 実存的感謝の探索的検討
—原発事故経験者における有用性—
○島井 哲志
関西福祉科学大学
- P2-5 首尾一貫感覚を測定する尺度(SOC-29)の潜在因子構造
—他のファセットを用いた確認的因子分析モデルの適合度比較—
○福井 義一
甲南大学 文学部 人間科学科
- P2-7 大学生におけるSEIQoLの信頼性・妥当性と特徴の検討
○池田 みのり
北里大学大学院 医療系研究科
- P2-9 ストレスフルな体験の自己開示を測定する尺度の作成
○木村 悠人
名古屋大学大学院教育発達科学研究科心理発達科学専攻精神発達臨床科学講座
- P2-11 痩身とたくましさを過度に求める行動に影響する要因の検討
○紫垣 大智
文教大学大学院人間科学研究科人間科学専攻
- P2-13 大学受験を控えた高校生を対象としたストレスマネジメント教育の効果の検討
○杉山 智風
京都橘大学 総合心理学部 総合心理学科
- P2-17 継続ギャンブラーの特徴とは
令和5年度調査から
○柴山 笑凜
独立行政法人国立病院機構 久里浜医療センター
- P2-19 ピラティスの開始から効果の獲得に至るプロセスの探索的検討
○山本 幸穂
筑波大学人間総合科学学術院人間総合科学研究群
- P2-21 朝型・夜型のクロノタイプと性格特性および抑うつとの関連
○宮田 裕光
早稲田大学文学学術院
- P2-25 大学生のやせ志向文化への態度と摂食障害傾向における個人内要因の検討
○白石 菜々
神奈川大学大学院人間科学研究科博士前期課程人間科学専攻
- P2-27 大学生のスポーツ習慣と幸福感
○谷口 弘一
下関市立大学経済学部

- P2-29 非医学系研究における有害事象に関する調査
インシデント・アクシデントに着目して
○渡邊 卓也
京都大学 医学部附属病院倫理支援部
- P2-31 自尊感情と優柔不断傾向の関連
○木原 すみれ
東京家政大学大学院 人間生活学総合研究科 臨床心理学専攻
- P2-33 重要視する選択基準数が選択後の満足と後悔に及ぼす影響
○井手上 颯
関西学院大学 文学研究科 総合心理科学専攻
- P2-35 てんかん患者におけるメンタルヘルスリテラシーとメンタルヘルス専門家への援助要請の関連
○高橋 健人
東北大学大学院教育学研究科
- P2-37 乳児が喜ぶ親子体操の種類の間定
○大金 保穂
桜美林大学大学院国際学術研究科
- P2-39 脳血管疾患患者における活動抑制が報酬知覚を媒介し抑うつに及ぼす影響
○畑 琴音
早稲田大学人間科学学術院
- P2-41 セクシュアルマイノリティと ASD 特性との関連性
○松井 めぐみ
岡山大学 教育推進機構
- P2-43 発達障害の子どもを持つ保護者に対するペアレント・トレーニングの効果の検討
○小林 優乃
桜美林大学大学院ポジティブ心理学分野
- P2-45 保育者による子どもへのしつけとそのイメージ
○奥田 訓子
桜美林大学 総合研究機構
- P2-47 ボディイメージの歪みにおける心理的要因の検討
—公的／私的自己意識と自己受容の関連に着目して—
○鎌田 琳
神奈川大学大学院人間科学研究科
- P2-49 緑内障治療アドヒアランスの関連概念測定を試み
○合澤 典子
お茶の水女子大学
- P2-51 糖尿病患者の健康行動に及ぼすポジティブ心理学的介入効果：テキストマイニングによるシステム
ティック・メタレビュー
○石橋 香津代
帝京科学大学大学院医療科学研究科／JCHO 佐賀中部病院
- P2-55 定年退職予定者のウェルビーイング
○石川 利江
桜美林大学大学院

ポスターセッション

11月24日(日) 責任発表時間 16:20～17:00 【展示会場(111・112・113)】

- P2-2 日本語版 Cyberchondria Severity Scale(CSS) の作成と信頼性・妥当性の検討
○鈴木 駿平
明治大学大学院文学研究科臨床人間学専攻臨床心理学専修
- P2-4 日本語版大学生用余暇活度尺度の開発
○坂本 海藍
別府大学大学院文学研究科臨床心理学専攻
- P2-6 日本語版 SNS (Social Networking Service) 依存尺度の試作 2
—構成概念・基準関連妥当性と再検査信頼性の検討—
○中谷 智美
甲南大学大学院人文科学研究科
- P2-8 自傷行為の経験尺度 (MELSI) と否定的自己概念尺度 (SSNS) の作成
○今井田 貴裕
人間環境大学心理学部
- P2-10 デイサービス介護士のソーシャルスキル尺度群の短縮版尺度の開発
○三宅 沙侑美
岡山大学大学院 社会文化科学研究科
- P2-12 大学教員・学生を対象とした生成 AI 受容尺度の開発
○浦田 悠
大阪大学全学教育推進機構
- P2-14 介護老人保健施設職員に対して行った心理教育を中心としたストレス対処研修の効果検討
○阿部 祐也
IMS グループ 医療法人財団明理会 西仙台病院 臨床心理室
- P2-16 青年期アスリートの被スポーツ虐待経験の実態調査と尺度開発
○煙山 千尋
岐阜聖徳学園大学教育学部
- P2-18 真の悲観主義アスリートはコーチ不在期間に何を得たのか？
○川村 亮太
大阪体育大学大学院スポーツ科学研究科
- P2-20 優れたライフスキルを有する大学体育会柔道部員の特徴
～経験年数, 競技成績, 役職に着目した検討～
○藤島 将太
近畿大学 大学院商学研究科・商学専攻
- P2-22 Sexual Sensation Seeking とコンドーム使用行動との関連性
○尼崎 光洋
愛知大学地域政策学部
- P2-24 摂食障害傾向の人の欲求不満と攻撃性の関連について
○松本 詩絵梨
神奈川大学大学院人間科学研究科臨床心理学研究領域臨床心理学分野
- P2-28 大学生競泳選手の自己愛人格傾向と失敗からの学習可能性が心理的競技能力に与える影響 (2)
○河村 美羽
久留米大学大学院心理学研究科

- P2-30 特定保健指導に対するアドヒアランス向上に向けた対象者の認知と行動的特徴に関するセグメンテーション分類
○平井 啓
大阪大学大学院人間科学研究科
- P2-32 日本人大学生のストレスの効果に関する捉え方の特徴
○堀内 聡
比治山大学現代文化学部社会臨床心理学科
- P2-34 青年期の内的作業モデルに私的自己意識・脱中心化が与える影響
○多賀野 結音
別府大学大学院文学研究科臨床心理学専攻
- P2-38 認知的方略の違いが認知的評価およびストレス対処方略の採用に及ぼす影響について
○小笠原 涼香
東京家政大学大学院 人間生活学総合研究科 臨床心理学専攻
- P2-40 学校教員の同僚性行動がバーンアウト症状の進行に及ぼす効果
——交差遅延効果モデルにおける調整効果——
○磯和 壮太郎
名古屋芸術大学教育学部
- P2-42 自閉スペクトラム症児を養育する母親のセルフ・コンパッションが精神的健康に与える影響
○石川 智
神奈川県厚木児童相談所
- P2-44 「SOS の出し方に関する教育」の要素を含むストレスマネジメント教育プログラムの作成
○長沼 千夏
早稲田大学大学院人間科学研究科
- P2-46 母子世帯の母の健康と予防的健康行動に関する実態調査
○増山 利華
松蔭大学看護学部
- P2-48 仕事従事者のオフジョブクラフティングが精神的健康に及ぼす影響
○戸高 美月
別府大学大学院文学研究科臨床心理学専攻
- P2-50 感覚処理感受性の高い人における、ぬいぐるみを抱くことのリラクゼーション効果
○齋藤 桃
東京成徳大学大学院心理学研究科臨床心理学専攻
- P2-52 日本国内における死への態度尺度の文献的検討
○井久保 朱音
京都橘大学大学院健康科学研究科臨床心理学コース